

## ～患者様ご自身の血液成分を用いた再生医療での治療～

### 多血小板血漿（Platelet Rich Plasma: PRP）の投与による治療

#### PRP とは？

血液の中には、傷を治す働きを持つ「血小板」という成分があります。この血小板を高濃度に濃縮し活性化させたものが多血小板血漿（Platelet Rich Plasma: PRP）です。PRPにはたくさんの成長因子が含まれていて、細胞の成長を促進する力があります。このPRPの力が、人の本来持っている治癒能力や組織修復能力、再生能力を最大限に引き出し、傷んだ関節軟骨や靭帯などの治癒を促すと考えられています。

#### PRP 治療について

患者様のご自身の血液から得られるPRPを患部に注射する治療です。

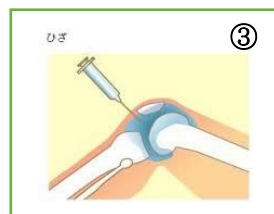
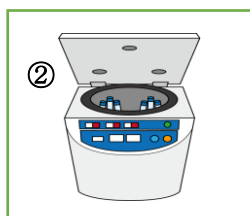
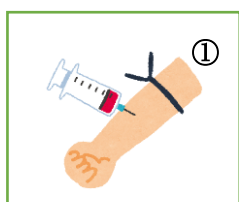
PRPの抽出は、安全性が厚生労働省より認められた医療機器を使用いたします。

患者様ご自身の血液を用いるため、拒絶反応が起きる可能性は極めて低いと考えられており、採血と注射のみで終わりますので、患者様の体への負担は少なく済みます。



#### 提供される再生医療等の流れ

- ① 患者様の血液を 30ml～32ml 採取します。
- ② 遠心分離機に 2 回かけて PRP:（多血小板血漿）のみを取り出します。
- ③ PRP を患部周辺に注入します。



#### 他の治療法との比較

- ・筋肉や腱などの治療にはアイシングや湿布、抗炎症薬の内服などの保存療法を行い、ほとんどの場合は痛みが改善しますが、痛みが継続する場合はステロイド治療を行い、その後リハビリテーションを行いません。また、損傷が大きい場合は、抗炎症薬やステロイド注射を、痛みが強く改善しない際は、外科手術なども行いません。
- ・変形性関節症などにはヒアルロン酸注入がありますが、ヒアルロン酸は関節腔内から 3 日で消失します。これに対して PRP 治療は、おおむね 1 回の治療で、6～12 ヶ月効果が持続します。

#### 今までの治療法とこの治療法により予期される効果及び副作用等の比較

これまでは薬で症状が改善しない場合は、より強い薬に変えることがありました。しかし強い薬は胃腸を悪くすることがあり、また他にも副作用や合併症が出て薬の投与を中止しなくてはいけなくなることがありました。海外では、この PRP 注射直後にかなり機能の改善と痛みの減少がみられたとの報告もございます。当院でも治療するうえで効果的かつ安全な方法であると考えております。治療効果や効果の持続期間は個人差がありますのでご了承下さい。

また、人によっては患部に痛みが出ることもありますし、痛みが長引くことも考えられます。施術後は痛みが和らぐまでは、安静にしてください。なお、患者様はこの再生医療での治療を受けることを拒否すること、又は同意を撤回することにより不利益な取扱いは一切受けないので、ご安心ください。

こちらの再生医療等を受ける患者様の個人情報の保護に関する事項は遵守いたします。

#### 治療後の注意点

- ・注射後 3～4 日後は、腫れやかゆみ、赤みや痛みが出るなどがありますが、その後自然に消失していきます。
- ・投与後、数日間は血流の良くなる活動（長時間の入浴、運動など）を行うことで、治療に伴う痛みが強くなる場合がありますが、治療効果に差はありません。治療直後よりストレッチなどの軽いトレーニングは行ってください。
- ・関節は細菌に弱いので、清潔に保つよう心掛けて下さい。

※治療当日は飲酒や入浴をお控えください。